

5

続紀

延喜式

儀式帳

傳世名
地石

壇瓦

竹取物語
甲子林技

度量衡
十六丁

讀書記
雜抄二

特別
14
697
5



14
697
5

特

山部道行の歌

山部道行の歌

は標上

ハシ



月夜にそめていづれもまの 影を 照

をあるもふすくやまゝにん

杖無心

つまやかりおた 湖の 宿るあつら

ハシ

かきうのまゝに 入目の 新に なるのま

のうらささやうせんやうら

あつてまうらうけ 世とあつて ぬれ

たうあつて 所あつて 日のま

ハシ

おつてまうらうけ 世とあつて ぬれ

たうあつて 所あつて 日のま

あつてまうらうけ 世とあつて ぬれ

たうあつて 所あつて 日のま

あつてまうらうけ 世とあつて ぬれ

たうあつて 所あつて 日のま

あつてまうらうけ 世とあつて ぬれ

たうあつて 所あつて 日のま

あつてまうらうけ 世とあつて ぬれ

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or address, written in a cursive style.

Handwritten characters in the upper right section, possibly a name or a specific reference.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten characters in the middle right section, possibly a name or a specific reference.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten characters in the middle right section, possibly a name or a specific reference.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten characters in the middle right section, possibly a name or a specific reference.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.

Handwritten text in the middle right section, continuing the list or notes.



Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or a date.

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or a date.

たいてい

ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち

ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち

ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち

ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち

ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち

ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち

ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち

ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち
ゆきまきまのちのちまきまのちのち

木國造

神皇產靈命五世孫天道根命之後也 善國事記
原國目前四懸兩大神天降坐之時御後奉仕 姓氏錄

孝元天皇御子比布都都押之信命娶尾張連中之視
意富那思之妹葛木之高千那思生子味内宿
又娶木國造之祖宇豆比古之妹山下影日實生
子建内宿祢 記中

出雲國造

尾張國造

尾張國造

御上神社 名神大月
古事記法悔之御上祝以伊都玖天之御影神之
女息長水依比賣

古事記法悔之御上祝以伊都玖天之御影神之
女息長水依比賣

御影令之後也
姓氏録額田湯坐連天津彦根命子明立天

山城各郡

水主神社十座 美月次新嘗就中同水主坐
天照神魂神三伴託山背大國魂命
神三座預相嘗祭

古事記天忍穗耳命御子香能近之藝命所兄

天火明命 母高木神御女萬幡豐秋師比賣命
天照國照彦火明命 書昆三三三命三三三書古事記曰

天香蟲命 母天道日世下

天村雲命 母異妹穗屋姬命

天忍人命 母阿婢良依姬

建額赤命 母葛木土神御根命賀奈良知姬
天戶自命 母異妹角屋姬命
各葛木土神

建筒草命 母葛木屋敷置姬 建米米命 母葛木避姬

建田背命 母紀伊國造祖智名曾妹中名草姬

建諸隅命 母石城島連祖草名草姬

倭得玉彦命 母葛木直祖大諸見三尼女子諸見子姬
亦云市大船日命古事記曰屋敷連祖意留那
異妹葛木高知那昆賣命

玉勝山根古命 母伊我臣祖大伊賀彦女伊賀姬

代水主准部連輕部造蘇宜部首小祖

延佳神主云天照神魂神謂天火明命山背大國魂神謂
玉勝山根子命

葛上郡 葛木坐一言主神社 名神大
月次新嘗

高天彦神社 名神大月次
相嘗新嘗 天火明命相嘗三
手三孫止妙アルシ又
天香語山命三三三

葛木大重神社 天香語山命三三三

葛下郡 葛木倭坐天羽雷命神社 大月次
新嘗

當麻都比古神社

大坂山口神社 大月次
並各神大月次
新嘗新嘗

葛木二上神社三座 大月次
新嘗

忍海郡 葛木坐天雷神三座
古事記所坐天火明命三三三葛木三祀ル神アルニ據
十力

葉木國此云播舉矩爾

可美 此云于麻時

彦舅 此云比古尼

皇彦靈 此云美武須毗

湍土 此云于毗尼

沙土 此云須毗尼

沫湯 此云阿和那伎

柱 此云美敷音邏

少男 此云烏等孤

日本 此云耶麻騰

瑞 此云彌圖

斯乳 此云阿那而惠夜

可愛 此云哀

太占 此云布刀磨尔

御統 此云美須磨屨

噴讓 此云舉廬毗

田心堀

居于中瀨

古廿二傳七ノ三 多紀理毘賣命 之興津宮

湍津姬

居于海濱

古田寸津比賣命 之興津宮

市嶋嶋姬

居于遠瀨

古市寸嶋嶋比賣命 者坐宵形之中宮

天穗日命

是出雲臣土師連小祖也

天津彦根命 是凡川内直出直小祖也

近江國菟生郡

奥津島神社 大神

本所菟前宗後郡 古事記 奥津云 多紀理毘賣命 社付同之書記 市杵嶋姬命

海井郡

都美須麻神社

古事記 中津云 市寸嶋嶋命 書記 田心堀命 按按理賣命 社記 湍津嶋命

仁壽三從五位下

筑摩神

社付奈那市杵嶋姬命

仁壽三從五位下

島津宮

社記 田寸津比賣命 市杵嶋姬命

序品

名日月燈明十號具云云最後佛
未出家時有八王子一名有意二名
善意三名無量意四名寶意五名
增意六名降疑意七名響意八名
法意是八王子威德自在領四天下

是妙光法師

方便品偈

白鑠及鉦錫

同[法華]第一

嗚呼 譬喻身三謂

速野系部...
 大正...
 神皇正統記...
 素戔嗚尊...
 天孫...
 天孫...
 天孫...
 天孫...

山城國乙訓郡大倉神社右神
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...

山城國乙訓郡大倉神社右神
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...
 大倉神社...

先代舊事本紀目錄

神皇系圖一卷 今亡

第一卷

神代本紀

天地開闢至神世七代尊皇事

陰陽本紀

伊弉諾伊弉冉尊事

第二卷

神祇

素戔嗚尊事
天孫河段

第三卷

天神

天押德耳尊事
防衛三子神名ヲ載

第四卷

地祇本紀

八岐大蛇事
素戔嗚尊伊弉冉尊事

第五卷

天孫

尾張氏事
物部氏事

才六卷

皇孫本紀

瓊杵尊至
磐余彦尊

才七卷

天皇

神武天皇ヨリ
仲哀天皇ニ在

才八卷

神皇

應仁天皇ヨリ
武烈天皇ニ至

才九卷

帝皇

繼體天皇ヨリ
推古天皇ニ至

才十卷

國造

大倭國造ヨリ
津島縣直ホニ至

皇

衣 褒俗字 收易初音 攝說文以組帶為也
卷皇臣撰行詩幽深島

倭姬命世紀

又皇太神第一攝神荒鬼多賀宮波
豐受太神宮仁奉副位給者也

此文言レニ豊受大神ノ丹波ヲ移シ坐スニテハ
高宮ハ荒祭宮ト並テ大神宮ノ北東ニミシニシト
ルニ今ノ豊受神ノ相殿ノ三座モ太御神ト所
ニ齋祭リシニヤ○真謝直長王ノ考ニシハ外宮
ハ故ヲ大神宮送宮ナルヘト云リ
又案スルニお堀ノ三前ハモヨリ度相坐シニ九

推古紀七年夏四月乙未朔辛酉地動
舍屋少破令四方俾祭地震神
同紀十五年詔云白雉太子及大臣率百寮以

祭拜神祇

舒明天皇紀

廿三ノノ
天智天皇天武天皇大津天皇ノ記

齊明紀元年冬十月云云於小墾田宮造起

宮闕擬將瓦覆云云

春正月云云皇祖母尊即天皇位於

飛鳥板蓋宮云云

土地硤确 書紀卷之九

万三ノ上廿二ノ多ノ解
小田事勢能山云云
如海多ノ多吾教云云
山云云

書紀卷之十九抄

天國神開廣庭天皇

欽明天皇

大伴金村大連蘇我稻宿禰大臣為大臣並如故

椽 ニノノ
古ノ本訓

百濟造大六佛云云願天皇獲勝善之德

十三年云云天皇命神祇伯敬受策於

神祇云云請往救所以社稷寧寧原史

建邦神者天地割判之代草木言諸

之時自天降來造立國家之神也頃

聞汝國輟而不祀方今後悔前過

修理神宮奉祭神靈 百濟ノ詔云云汝ノ國ノ神ノ割ハ割ノ誤也

國可昌盛汝當莫愁

田令

田令此云
臣豆歌田

世六才

十九年六月天皇遣大將軍大伴連狹
手彦領兵數萬討于高麗狹手
乃用百盾計打破之其王踰牆
而逃云々

狹波山

二十ノ卷
傳中倉太珠敷天皇

高麗上表疏書于鳥羽

高麗無礼
其下可惡

飯氣ニ盡テ帛ニ多シテ云云ハ王辰命ナリ

天皇不信佛法而愛文史

紀首

廿一卷

橘豐日天皇 用明天皇

天皇信佛法尊神道

紀首

廿二卷

豐日食炊屋姬天皇 推古天皇

十年十二月始行冠位大德小德云々并

十二階並以當色純維之頂撮拵如

衣而著緣弓唯元日著髻華

髻髮此
云于禱

六ノ

これ冠位を制しりし始也唯元日

着ぬとある事しりし事也其の始也

神世の御事と云ふ事人々し其の始也

大徳高麗を朝拜の礼大嘗小也位以と

ハ朱流ノ梳と非ぬハ流らるる事

事なる事也

十一年秋九月始定黄文畫師山背畫師

二十三卷

息長足廣額天皇 舒明天皇

群卿若從來嚴弟 此云伊箇之保虛 取中事 取中事
而奏諫人等也 五ノ

二ノ 天豐財重日 伊柯之比 足姬天皇 皇極天皇

二年夏四月丁未自推宮移幸

飛鳥板蓋新宮 七ノ

溝瀆 八ノ

三年春正月以中臣鍾子連拜神
祇伯再三固辭不就稱疾退居

三嶋 九ノ

駟使 十ノ

以水送飯 十一ノ

卷第二十五 シテハナリイハシキキ

天萬豐日天皇 孝德天皇

云云 十二ノ

卷第二十六

天豐財重足姬天皇 舒明天皇

政所 十三ノ

道興又陸道興 十四ノ

卷第二十七

天命開別天皇 天智天皇

第三十八

天清中原瀛真人天皇上天清天皇

安磨郡美濃國

第二十九天武天皇紀下

葛城新九ノ四

五年九月丙寅神祇官奏曰者新嘗卜

國郡也齊忌此則尾張國山田

郡次此云丹波國訶沙郡並食

卜土才

相新嘗諸神祇

政要者軍事也

第三十

高天原廣野天皇持統天皇

文德實錄十五才

内裏八省院

天安二年四月辛丑

宮主外位五位下占部宿禰雄負卒

控負者詭策之備也凡才尤長

此術帝在東宮時為宮主踐祚日

為大宮主贊本姓卜部高陶三皮

此姓長部宿禰云云

主計式廿九卷八十七

搗栗子中男作物

カキノ子

十月式廿六平栗子搗栗子

檣檣二斗

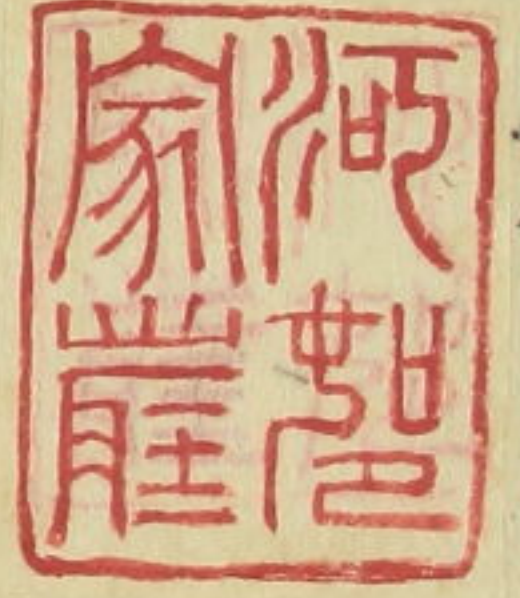
延喜式

西原二月簡神宮免植五枚本始
石村秀與主勢以稻葉本可傳授下

防壁

大神宮三ノ四行十才八行
舊訓如口
才考本名五毛

和名古十七
傳壁又防壁
多都吉毛



部領

日訓オロキヲ

桃花衫 日訓アランメヒトキ又

并

四ノ六八 五ノ一四ノ六右七八行三享

蒲防壁

カミノカシロ 次ノ文三壁代トアレハ防壁六
月訓ニテカカ オニタツコモトヨメル為レル也

先人 スミレヒト

腰巾 ハキマキ

俗ノハギ尾結勝科ト云

熟者魚堅魚 十斤

勝漬 一斗五升

押年魚 七斤 [王徳日記]

鯛楚割 較楚割各七斤

廿 楚割鞋三隻

六行 味將酉

廿才 散位六人
初行 位子四人

名アハ散位ニ子ト格点ワケハ
ア散位ト位子トハ色ナリ

廿才 鋪設雜器

五ノ 銅旅電一具 眼

卅左 酒罍 別未三 酢五甕 別三
石七斗

樽 豆三石 若甕破壇者令

尾張國供送

ア甕也ニナリ七斗以入止シ大甕三厄ハ
水ヲ入ルル也一尾張國供送ストハハ
帝湯ノ吉備ノ大瓶也

各院式

五膳所舍人

六左 傍注依汗短尺改第一度
七右

七右 朱書 舊有草整十六枚而依御短尺傳之

十八右

廿五 掃部寮殿部掃部

草整九
式見掃部

廿三 戴御膳案女八人

儀式五ノ九ウ

鎮魂祭儀云、白命琴笛相和 詞云養

布敷云 御巫始舞 三回 奏云阿

波世 以琴笛等あきせよト云言ヲセト云ル古言云

あきせよト云言ヲセト云ル古言云

七四 二月七日儀 二月七日乃 湖弓又獻良人申給 波久

申 若親王任御者奏詞云 兵部若大補奏詞云

二十九 二月上卯日進御杖儀云、大舍人寮先入奏

進其詞云大舍人寮申又二月乃上卯日乃御

杖仕奉 進 良久申給 波久 申 若親王奏

代進良久乎詞又其下 加恐羞恐毛詞

白集十 郊下

西日照高樹い及び持守あり及使中の人
の神江新主あり山に有る所
川元長此句許トモカ似專城

三十四之三

訓思黯自誇

鍾乳三千兩金釵十二行

注思黯自誇

前後服鍾乳三千兩甚得力

世六ノ十一

老憐口尚美病喜鼻聞香

鹿尾菜和名比須木毛 同比ノ和也

、同知せそ才二才之音通フ

常陸凡記卷四百九十九

珠賣美万命自天降時

田令二十ノ

家人奴婢被放為良

及敏ハシ相敏ハシ敏傷ハシ

屋の中衣格敏敏ト
混せしアアアア本毛
同シノアヤテリ

集解見ルハ敏ハ敏ノ
誤正ニ敏古之ニ敏字ノ
吳群敏ハ殺字ノ吳群
コロスニ敏ハツツハ殺人
軒盜事罪怪カラスト云
絶ニトアハルハツツハ

主稅式九才

網丁若干人

法倉甲倉
板倉

瓦倉

土倉

屋倉

借倉

借屋

若多ハシ交名

ト云リ七世連名ト云ニ似リ
神宮三國新日々ノ人別使

主計下ノ
大帳

下次丁中男ホノ課丁ト不課トヲ勘合シテ
調帳ノ進ト未進トヲ勘フルナリ

調帳

民戸上十五才

一戸 正下四人
中男一人

江戸見 江戸見
江戸見

造矢柳篋

油絹

大板馬價 正下四人
中男一人

太宰府造 朱漆
飯椀一百口
羹底二万口

茶小椀 徑各
六寸
尾張所也

押羊糞

類聚三代格廿卷

計上世三〇七才

四時祭式上七才

神嘗 今集解
一祭謂神衣祭
便昂祭也

寛堀各十口 盆字亦
和名比良加倍云保岷

寛四口堀吾 堀和名奈用

酒臺 和名十六十但真力十圓

御體御卜 四時祭下
御體御卜
ヨハヒ

四國乃卜部等

槍鉾

常布五端 以二丈三尺
為庸布一常
結紀六九才

櫛一俵

鎮魂祓服 タミシメノイハナリ

又下三才

日附式
集 卷之三

世ノ武具也
世ノ武具也

世ノ武具也

世ノ武具也

嘯 戸

口ハキ、音便トハナト書ベシ

黄 覆

覆ハ下ト白ク

凡 膂力婦國養物勤納頒給

次ノ文ニ左京左京ニテ田ヲ賜テアリ 内侍職ニ
シカフモノ見テアリ 縫殿寮

東 室子

女孺

膂力婦

音読ル

今 良

傍書放戢後良也トテキテ止ル
訓トシテイニナク

古今集

男二人アリ
女廿四人アリ

鹽 三斗

鰯 十八斤

堅 栗世五斤

烏 賊世斤

紫 苜世斤

海 藻二百世斤

滑 海藻二百世斤

海 松一百世斤

漚 海菜一百世斤

辣 甲麻六斗

近 江鮓五斗

煮 塩草奥五斗

堅 菓煎汁四斗
甜菓者汁曰魚也

一 斤

九十六兩為一斤

十六張

地衣子 (Tremella) 一斤
 干天麻 (Gastrodia) 一斤
 干地黄 (Rehmannia) 一斤

黃蘗

生絕

嘑戶

口キ、音使ナレハト書ベシ

黃覆

覆、把、白、皮、丸

凡齊力婦國養物助納須給

次ノ文ニ在京左京ニテ田ヲ賜テ了リ内侍職ニ
 進解寮

東堅子

女孺

齊力婦 音読丸

今良

傍書放戦後良也
 訓ナレバイナラハ
 一十一年九月
 男二人
 女廿四人

鹽三斗

鰯十八斤

堅果世五斤

鳥賊世斤

紫苜世斤

海藻一百世斤

滑海藻二百世斤

海松一百世斤

漚海菜一百世斤

棘甲蟲六斗

近江鮑五斗

煮塩等果世五斤

堅菓煎汁四斗
 甜惠者汁曰魚也

九十六兩為六斤

十六張

正所式
集 个
世宁 九

一 糖 子 子 子 月 方 方 方 方
代 文 人 令 王 力 王 力 王 力
高 时 代 之 方 方 方

一 海 山 王 是 月 市 市 市 市 市
中 人 人 人 人 人 人 人 人
代 文 王 王 王 王 王 王 王 王
高 时 代 之 方 方 方

- 鹽 三 斗
 - 雞 六 斤
 - 堅 果 世 五 斤
 - 烏 賊 世 斤
 - 紫 苜 世 斤
 - 海 藻 一 百 世 斤
 - 滑 海 藻 二 百 世 斤
 - 海 松 一 百 世 斤
 - 淺 海 菜 一 百 世 斤
 - 蒜 甲 一 百 世 斤
 - 近 江 鮑 世 斤
 - 煮 塩 羊 臭 世 斤
 - 堅 菓 煎 汁 四 斤
- 甜 菓 者 計 曰 煎 也

一 斤 九 十 六 兩 為 大 斤

十 六 張

三ノ果一柁

三ノ果に柁少磨る

二ノ果を柁少磨る

一ノ果を柁少磨る

二ノ果を柁少磨る

一ノ果を柁少磨る

一ノ果を柁少磨る

一ノ果を柁少磨る

~~Handwritten text, possibly a name or title.~~

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

賦役令
調細為絹也
絹綿布並御土所出

二丁一人絹純八尺五寸六丁成匹 長五丈一

尺廣二尺二寸美濃純六尺五寸八丁成匹 長

五丈二尺廣同絹純絲八兩綿一斤布二丈

六尺並二丁成絢也端 謂絲十六兩曰約也綿二

也端長五丈二尺廣二尺四寸其望陀布四丁

成端長五丈二尺廣二尺八寸若輸雜物者

鐵十斤鐵三口每三斤鹽三斗穀十斤

堅魚世五斤云々 雜物スヲ世四種アリ

絲一匁十六兩為匁者用小量也則小一斤也

今五拾三匁三匁三厘有奇也

綿一匁四匁為匁者亦用小量也

今百匁六匁六分六厘有奇也

鐵十斤用大量也今壹貫六百匁也

鐵三口每口用大量則一口者今四百八十匁也

今將鐵十斤應五挺福令以鐵二挺代鐵五口

雜令 廿五才。物茂口。度量重衡二季。已依之注了

一尺 今ノ曹尺ト曰開元通寶ノ錢ヲ以テ准若尺ニ

異同トナリテ知テ改及通度量考ニ見テ

度地ヲ 曹尺一尺二寸ニ 今五所ナリ

大尺 下文度地五尺為步三百步為里

今三合三勺三三、、、

小一升 今一升ニ。今本注三升為大一升

小一兩 小廿四株為兩 今三合三勺三三、、、

小一斤 小十六兩為斤 今五三三三三三三三、、、

大一斤 小三兩為大一斤 今十斤ナリ

大一斤 今百六十匁ナリ 今百六十匁為大斤

大一斤 今百六十匁為大斤

十六張

夫一株 今四下下六

小一錢 今十文

内藏式
紫纈

仕十以上浄衣料

丑冬花髪曼盛柳管料緑線小四兩

生絹世生絹今法下

鶏兎各十連

水匳

阿礼料五色帛各六疋盛阿礼

料管八合

白纈色鎌白絹

穉城法華寺大神神子

三島丈綿

甘肥オホクニ

土器

昌蒲佩

青砥

世二疋六寸二口三尺寸以
庸布四尺二寸二丈一尺

夢使部

上日真町

揚名宦達

元位七貫白丁十貫

元位六元位ノ宣マ亮

麻田郡モト尾住地名也

凡横力鍊鍊者以縁纏造勿用素木

会膳膳

下物職

盗物同訓

大正元年三月
任大常司二年三月國造入京三月領幣帛云々

大正三年七月紀十四 在山塔國乙訓郡火雷神之
宜入大幣乃月次幣俗上見多大幣乃俗
續紀八七七預名神上同子也

吉智首角兄麻呂
穀之為物經年不腐

陸田多之轉地子恒粟三升也
板屋草舎中古遺制云

天平元年四月勅每年割取伊弉神調純
三百疋賜任神祇官中臣如凡等上

調布長二丈款廣布長二丈四尺為端首之
大二百斤 駒馬所江 二百斤 廿七枚
乃年 廿七斤 二百斤 廿七枚

勅符 乃年 廿七斤 二百斤 廿七枚
金鍾寺 乃年 廿七斤 二百斤 廿七枚

復至古之寺

諸國公廨 大國世万束 上國世万束
中國世万束 下國十下束

余如往在屋下屋後宿終小倉授多由下
乃屋張國造 昭宣元年正月年

對戶人教一戶 正丁五六人中男一人
右白民武同 田租以世業有限

郡領漕第

陸奧國多賀以諸郡正丁一人黃金兩

正稅出奉 以十八為中男世已未感丁 美格迄
廿五廿五

勝齋社祝 目次祭例 五丁社云云

尾張宿禰大隅 切田研斷 揚清秋牙

廿一也九才

尾張連馬身之賜名給

天保三年七月記
以六十為老丁以年五為若老

廿一十一才
田宮御宇天皇 日並皇子命

大將為山之後友乃大尉
中内府
為陸奥

寶曆三年十月紀
四更
陸奥

同十月辛卯御乾政官院行大者

之事身所由由校接
由校接
由校接

默在峠為礼止

生丑男者免父課促
皇三年二月
由連古鷹見見王

每國奉造阿彌淨土畫像寫秘曆淨

土經
寶曆三年七月紀

五十一才

諸司人等衣服
元任朝服著細黃衣
綢廣一尺二寸已下

心為而之六尺為段不得用帶

美更廿七〇廿九五〇廿九五才三

百濟王善光

天武紀下十才

大三輪真由子君卒賜内小紫位

白羽官牧馬貞四子也六十才
陸奥國行

吾尔尼保波尼妹示
元任上
官本
めさん

川クー
〇元ヨケ在一番内ニ尼ヨ
由ヨフ不害

伊波比倍須惠都安邦登許能辨示

之奇志麻乃夜未等能久尔
安伎良

氣各在拾布等毛能年已許都刀米與

分十五山道福赤人詔四百才
春野
力者

大藏式部奉慶名品為取幣帛日云て浸有系
白の位以下人

延喜 才廿三但本ニテ卷次ハ不

規根生山背西にわい若村をとりしあり
あのかうり回ふまゝ水津にても屋船久乃知
津とあつた所を空舟と云ふと云ふ山口の神
より或人曰まきまのい木生嶺のい住木盤生
つら山名と云ふこゝよりあつた世入船字をか
つら山名と云ふこゝよりあつた世入船字をか

廿五

音屋相秀次屋敷と云い維新の所付種と云い
らまのい上下田を根をせと云秀老多力を賜
階上下の田をつき合てり一畝地は方丈と云ふ
六つと秀次のおのり田を根てはと云ふ
本又、四下六下ハ九十町ヲ百石ト兄テ 地頭百石
百廿四石
こい十町獲縮楳糶 畧五町に依テ極上田三
營料一石幸アリ 百廿一戸 田田テ 粟米十五石
中ノ四石ト合テ 十九石アリ

廿六

享保七年の御事
文三行ノ申子三ツリヤレハ京保土高ハ女子ナルハ
實文三登卯三生し人ナリ 康長八登卯秀頼ハ任
内府内子乙巳秀忠公拜征夷元和元豊臣氏亡同ニ
神君豊下リ元和元司直藤原氏 實文三と云
九年ナリ けハ八十ノ人ハ大坂陣ノ比子カノ子ニ
三ツ 信景主父母三ツノ上ハカフ六祖父母ナト
神君ニ事仕せし人ナリ

廿九

春日四所ノ中姫大神ヲ天照大神と云い説む誤
り然レテ神名祕書及帝主編等事ノ説揚幡
十ニ姫ノ事ナリ春日社司祝詞亦同之 永平云
祝詞ニ事
説字誤云とけ姫神ハ益見倉根令下
妃 カヒノ神ヲケヤミト云 巳下今所
カヒノ神ヲケヤミト云 巳下今所

コノカ善色玩ニテ云のいあるニ云の康高の事

大押ノ所ノも藤原ノ所神ナルト云い説む誤

三ツ分祀ナレ考汝セリ 如云神ノ見倉根令下

妃神 (香取鹿野)ノ大神 如云神ナルハ云いカ

廿八 (香取鹿野)ノ大神 如云神ナルハ云いカ

外祖神ヲ神申下 高階真人氏神ニ宗形神ヲ
祭ル下 三格ニテ分明ニ考考別ニ記スハ云

此書はト云ハ古語ニ非ズト云
如古語ニハト云ハ古語ニ非ズト云
ト云ハ古語ニ非ズト云

主水式部

氷室二十一

城十室大半

大和二室半

河内二室

近江二室小半

丹波五室半

内膳式部

日月春秋祭

國神十四座

五座座

幣物多あり

大和六縣ノ神ト
曰ト三テ祭ル

十兩二分四鉄

五ツ六オ

甘鹽鯛四隻

五ツ

橘子四蔭

梅橘子七枝

七ツ二カ

鮓鮓スミアヒ

薄鮓

腸漬鮓

進物所

カヒトヨリ

多クハ音流ニ点付

十六オ

箕三枚

籾擇鹽并梅著料三枚
籾擇粉著料

廿三オ

楡皮麩四持

搦得二合

三十オ

橋功二人

割搦カカ
カカテト活

銘巻好異年流

○文正三年九月村田春門所アリ

○享保十五年五月七日子刻生松塔在字寫し即

○寶曆二年三月京師堀景少師トノ儒学ヲ

○云ハ惺高主ノ才子ニテハ

○寛政三年十月餘方外山室山妙興寺ノ山ニ

○時クニ此ノ歌

山室山妙興寺ノ山ニ
時クニ此ノ歌

○同年展張物部連系國阮ニ好む

○九月十日ヨリ

○文正九年戌ノ九月九日諺流

信友主ナリ

雜式六才
對馬嶋銀任聽百姓私操沮馬國司不在此例
同五才
凡公私運米五斗者法仍用三儀為數之

大神宮儀式帳共廿六卷解十四卷

管度倉郡神社行事

合十四處之中官帳社廿五處
未入官帳社十五處

隴祭神社在大神宮川邊無御殿

小朝熊神社一處

梅神梯玉牟兎櫻大自刀形石生
又苦虫神形石生
又大山眾神子朝熊水神形石生
倭堰内親王御世定祝

正殿一區云々前二處云々

坐地八町東大山 南公田
西宇治大川 北御堂島

△和園大相菌相神社一處

稱大木上兒曾奈比比古命形坐

同内親王定祝

正殿二區云々

坐處十町四至 東南西大山
北公田

鴨神社 来田御山上村在

大水工兒石己呂別命形石生

同内親王定祝

正殿二區云々

坐地五町四至 東南西山
北公田

城田御多山の上下我吾三ツリ 形谷石

田島神社 来田公兵衛村在

稱大神御倉川神形鏡生

大長谷天皇御宇定祝

正殿一區云々

前殿一宇云々

坐地一町九分三百四十步

四至 東限五百本部浄金堂并小道
南限道 西北限道

夫村より来田御多山の上下我吾三ツリ 和名度會郡田倍多乃
当村之上田之村下田之村より神田モ在

蚊野神社 田之口蚊野村在

稱大神御倉川神形鏡生

同御宇定祝

正殿一區云々

前殿一區云々 東限尺并畠 南西道

坐地二町四至 北畠

甲之口蚊野村より俗ニカモリト云蚊野森ノ村

湯田神社 湯田村在

稱鳴震雷又大歳御祖命形無

同御宇定祝

正殿二區云々

坐地二町五段四至 東南川 西北分田
地名ヲ社号ト云湯田ノ村ナリ

已上六處造神宮使造作奉也

式部卿祖
大土神社一處

編國生神兒大國玉命

次水佐良比古命次水佐良比賣命

形石生

係内親王定祝

正殿一區云々

坐地八段四至

東分田 南御代并溝 西家田 北百姓畠

宇治之尾崎東川常供田西北川岸ナリ

國津御祖神社一處

編國生神兒宇治比賣命形石生

又田村比賣命形無

同内親王定祝

正殿一區云々以草菅奉云々

坐地 地 大土神四至内

久麻良比神社一處

編大歲神兒千依比古命千依比賣命

形石生

同内親王御世定祝

正殿一區云々以松菅奉云々

坐地二段四至 東南分田 西北溝

宇治山田神社一處

編大水神兒山田姬命形無

同内親王御世定祝

正殿一區云々以松菅奉

御垣三重 一重五垣長四丈八尺高八尺
一重堂垣長三丈五尺高一丈
坐地二段三百步四至 東道 南半路大川
西沢寺田 北大道

津長大水神社一處

稱大水上兒柄長比賣命形石坐
俣姫内親王代定祝

正殿一區

坐地三町四至 東道
南西北山

宇治令女遺ノ西畠所而山より南大水社
北當社ナリ

堅田神社一處

稱東方堅田神社形石坐

同内親王定祝

正殿一區

坐地一所三百步

四至 東山 南公田
西隣大姓家 北土海

二見之 村有地垣屋有東古堂ナリ

大水神社一處

稱大山眾乃御祖命形無

同内親王定祝

正殿一區

坐地二町五段 東道
西北南山

津長大水社ノ南ニテリ津長大水とノ
石止所分り隔て古兩社ト云々ナルハニ

或江神社一處

稱天瓊遠留方下兒長口廿介

形在水

又大歲御祖命形無

坂手國生神社一處 田也口田也村氏社
北園在

稱大水上見高水上形石坐

同内親王定祝

正殿一區云々

坐地五町 東林 南道
西林 北公田

南道云々田名分大者云々大新云々

狹田神社一處 湯田口田名在

稱須麻苗神兒速川比古速川比古

山末御玉形無三柱

同内親王定祝

正殿一區云々 南
東有姓地

坐地一町五段 西北公田

湯田口坂田村云々 俗ニヒコノ社ト云

瀧原神社一處 三殿村在

稱麻奈胡神形石坐

同内親王代定祝

正殿一區云々

坐地三町四至 東道 南山
西北大川

宮川口之野尻村ニ隣ルニ此川村坂中云々

以上十七箇處國津社右社破壊之時
國郡以正統修造也
以古祝部亦大神云々卜定任之狀
移送伊勢國司云々

未及官帳入田社事

鴨下神社

大水上見石已呂和居鴨比古鴨比古

右神社大神造奉使造奉而祝形無

坂田村三ツリ

津布良神社

大水上見津比古津布良比古堂形無

坂田村三ツリ

葭原神社

又宇加乃御玉御祖令形無
又伊知利比古形無

大威神見佐之津比古令形石坐

唐多郎^{ハクサハ}吳定村^{伊勢と無印の}塚大橋^{より九里}

耳^耳廿^廿向^向り^りあり^{あり}深^深山^山半^半九^九里^里君^君人^人あり^{あり}

天^天安^安二^二年^年貞^貞隆^隆官^官社^社

小社神社

大水上見高水上命形石坐

湯^湯田^田社^社村^村中^中あり^{あり}

許母利神社

粟^粟嶋^嶋神^神御^御玉^玉形^形無^無

坂^坂田^田村^村天^天日^日森^森世^世傳^傳蘇^蘇良^良寺^寺上^上モ^モカ^カノ^ノ神^神社^社
正^正信^信山^山上^上あり^{あり}社^社に^に結^結テ^テ僅^僅森^森あり^{あり}

新川神社

大水上神見新川比古堂令形石坐社地

未^未考^考葭^葭石^石上^上九^九社^社ト^トイ^イハ^ハカ^カ

石井神社

大水上見高水上命形石坐

宇^宇治^治石^石井^井田^田山^山あり^{あり}

葦立互神社

宇治比賣^乃見玉^乃良比賣^乃形^乃坐

年^乃神^乃社

大水上見寒川比賣^乃下寒川比賣^乃形^乃無

以上十五前神社

右儀比賣乃^乃神時仁祝御代

田^乃奉也未祝乃^乃儀不免仍号

田社^乃為供奉也

由氣宮儀式儀

一所^乃度會^乃郊神社事

合^乃其^乃指^乃肆^乃處

式^乃月^乃夜^乃見^乃神社

正殿^乃三區^乃之^乃云^乃

式^乃草^乃念^乃伎^乃神社

正殿^乃一區^乃之^乃云^乃

式^乃大^乃間^乃國^乃生^乃神社

正殿^乃二區^乃之^乃云^乃

右三所神社造宮使造奉之

式^乃度^乃會^乃之^乃國^乃都^乃御^乃神社

式^乃度^乃會^乃之^乃大^乃國^乃玉^乃姬^乃神社

式田乃家一瓦 田上神社 内宮儀帳田上神社俱式一社存

志等美社 藤野井庭神社

式大内神社

式清野井庭神社

式高河原神社

式川原神社

式川原潤神社

式山末神社

式宇須乃野神社

式御食津神社

式小俣社

右十六社官幣帛充奉但
十三社國充料令造奉

伊我理神社

懸神社

井中社

打懸社

式志等美社

毛理社

大津社

土賣屋社

右八社未載官帳

神宮廻神祭百廿四前
儀或帳六月例解卷七

大神宮式武平造替之巨曆儀不見存此
須麻呂宮神社

佐那神社二座

梯田神社

右三所多氣郡神宮式于川原首々々世々々

倭姬命世祀

倭笠縫邑

豐鋤入姬命崇神天皇之女御母木國造倉荒河乃
辨世遠津年魚目微比賣

石凝姥神

天目箇神

但波吉佐宮

倭國伊豆加志本宮

木國奈久佐瀨宮

吉備國為方瀨宮

倭孫和乃御室山領上

倭比賣命垂仁第二皇女御母但波比古多
須美知能守斯王之孫羽州比賣命

宇多秋志野宮
佐波多

天見通命

八佐加支刀部

伊已呂比命

宇太乃大采祿奈 大物忌世受給

宇多秋宮

隱市守宮

伊賀國 天武天皇庚戌歲七月割伊勢國四郡立彼國

穴穗宮

笠山高山

細鱗魚取淵梁作瀨

淡海甲賀日雲宮

同國坂田宮

美濃國伊久良河宮

尾張國中島宮

美濃國造

舍人市至

美濃縣主角鎬

米女忍比賣

伊勢國桑名野代宮

國造大若子命 持持

一名大幡主命

國造建日方命

分 舍人第伊余方命

日 舍人第若子命 子牙

日 川俣縣造大比吉命

味酒鈴鹿國

奈具原志忍山

阿野縣造祖真桑枝命 太力

草蔭阿野國

市師縣造祖建世吉命

多 阿佐加藤方片樋宮

阿佐加乃彌子

阿水加加多

多氣連寺祖宇加乃日子

吉志比女次 吉立乃

阿野藤方片樋宮

一書 宇依賀山

日 度會郡宇邊村宇鈴河上之宮

日 忌部玉梯命

日 中臣大鹿島命

飯野高宮

飯高縣造乙加皇知命

意須飯高國

法奈縣造祖強志宮宿祢命

許母理國志多滿國真之依牟毛在國

大乙子命

百結蘇我國五百刺竹田之國

梯田

梯田社

式多氣郡一神社

魚見社

式多氣郡魚見一在魚見村

白濱真名湖國

真名湖神社

佐々牟江

佐々牟江宮

白鳥之真野國

佐々牟江社

大典度

大典度社

磯宮

井上伊蘇國

百船度舍玉擬伊蘇國

宇久留

速河彦

畔廣之狹田國

佐々上

速河拱田社

高水神

兵高田深坂手國

田上

寒河

御船神社

真奈胡神

真奈胡御瀨

御瀨社

大河之瀧原之國

和比野

久求都彦

久求小野

久求社

園作神

園相社

目玉野

都不良

澤道小野

佐古久志呂宇達之五十鈴河上十

御船向田國

忌楯小野

水郷食神社

鷲取小濱

二見濱

速西二見國

佐見都日

堅多社

身 佐美川日子

江社

荒崎姬

大御神御前荒崎

神崎社

御津浦

大屋門

神潤河原

宇遲都日女

身 鹿乃見

止鹿乃見

矢田宮

竈田之上宮

奈尾之根宮

拔穂田

出雲神子出雲達子命

一名伊勢都彦神

一名檜玉命

大歳神

櫻大刀自神

山神大山眾神

朝熊水神

五十鈴川後江

宇治土公祖大田命

樟田彦神裔

茅 猿田彦神

依古久志呂宇遲之國

茅 伊勢加依波夜之國

御裳須曾河

天畠余孫 妻九ノ忌部玉梯命

茅 守部武津河別命 御送驛使

中臣國摩大鹿島命 一七ノ

物部十千根命

和珥彦國首命

大伴武日命

日小宮

茅 天棚檟姬神孫八千之姬命

嶋國之崎島 サウ

戶島 ナニノ

志波崎 ナニノ

依加太岐島

淡海浦

七箇嶋

淡良之嶋

伊氣浦

淡海子神

茅 津長原

津長社

大幡主命

舍人紀麻良

島國伊雜

伊佐波登美神

大幡主女乙姬

大歲神

朝熊河後之葦原中
石坐云云

足速男命

依之半江宮志葦原

竹連吉比古

八握穗神社

伊勢之御河

家田堰

延武廿六年丁酉
隱世世人考世人仕了八人云云

島國之志潛取奉玉貫鮑

鷄倉魁柄島神戶進堅奧

五百野皇女

久須野賣姬命

宇治橫殿磯宮奉日神祀無倦

日本武命尊

尾張熱田社

手置帆負命

彦狹知命

大依之命廿三年

丹波國與依之小見

比沼之真魚井原

^廿 山由居大神

道主子八乎止女

^夕 度會山田原

^廿 栗御子神社

大間社 大若子余社

田邊氏神社 宇多大采祢余相天
天見通余社

^廿 尾上山 伴姬余右隱生地

^夕 百船度會四玉掾伊孫國

神織服社

磯宮

^廿 圓方機殿

天機姬神齋八乎止姬余

内膳式三十力

管一段

大麥 種子一斗 小麥亦同

大豆 一斗八升

小豆 一斗五升

大角豆 一斗八升

蔓菁 八合 黃土 運功廿人 別日六度

苜蓿 三石 擔百二十

苜蓿 五石 十二擔

苜蓿 四石 百二十

落 二石 百擔

筋 三石 百擔

晚 四合 七十

晚 四合 七十

晚 四合 七十

晚 四合 七十

廿五

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

廿三

高菘	三升	百斤	三升
葵	三升	同上	廿二人
胡蒜	三升	同上	廿二人
蘆薹	一升	同上	廿二人
蘇眉	三石	同上	廿五人
蕪菁	三石	同上	廿五人
芋	二石	不見	廿五人
水葱	真團	百斤	五十三人
芥	五石	同上	廿四人
五加	二升	不見	廿一人

陣兵式十三方

藏人

○小之君部下之御者之數也

錦紗綾羅行若和服三尺九寸長不為六丈

運春官坊雜物自持管兩總出入

左右式一

路祚大尊大祓之於城外之解陳其廣也

親王入大神宮時大祓唯此拜物後式

凡四月七日龍豐樂院有射禮第一也

極白月之日的矢ハ以常ノ事ナリ

凡兵士及桃染局當

三行格

廟丁 三合ヤ三行格

東宮七

女藏人 内裏女藏人 日此考該三位亦四位參儀

兼定年三十九才

出之四山稅五石奉給末也神門后

富繼 天七七在四月庚午紀 准其五斛之

九十九九弘仁二年二月

漏刻

百年行人是授外從五位下人是大安了傷泰仙也
以五所聞令漏刻積年乃成帝嘉其功思
還佐叙位

和名抄
大本五ノ三ノ

海部郡 尾張和名抄阿末 海部也

海部 柄 紀伊郡

信濃水内郡 尾張 平波 利倍 鄉

越前 坂井郡 海部 無倍 鄉

丹波 熊野郡 海部 乙

隱岐 國海部郡 一 一 末 乙

備前 邑久郡 尾張 利 乙

備中 後月郡 七 豆 岐

紀伊 國那賀郡 海部 柳 乙

筑前 怡土郡 海部 乙

同 那賀郡 海部 乙

姓氏錄 山城國皇別

葉西米 小野 四祖 彦國 普余 乙 乙

河内皇別 尾張郡 彦 井 耳 余 乙 後也

左京神別 天孫

尾張宿禰 大明命 世世孫 阿曾連 乙 後也

尾張連 尾張宿禰 同祖 大明命 男 天賀 吉山 余 乙 後也

山城國神別 天孫

尾張連 大明命 子 天香山 余 乙 後也

水主直 同上

大和國神別 天孫 尾張 天大明命 子 天香山 余 乙 後也

攝津國神別 天孫 和泉神別 津守 由

津守 宿禰 尾張 宿禰 同祖 大明命 世孫

津守 大明命 子 後也

和泉國神別 天孫 津守 大明命 子 天高山 余 乙 後也

姓氏録才林未定難姓右京
凡海部直之明命之後者不見

竹取物語上下二冊 寺尺破見氏所藏

寛文三稔刻本 上廿二頁 合冊二張

下十二頁 上三十一頁 凡海部直之明命之後者不見

上三十一頁 凡海部直之明命之後者不見

下十一頁 凡海部直之明命之後者不見

三十一 凡海部直之明命之後者不見

十一 凡海部直之明命之後者不見

上三十一頁 凡海部直之明命之後者不見

三十一 凡海部直之明命之後者不見

七十 凡海部直之明命之後者不見

七十 凡海部直之明命之後者不見

七十 凡海部直之明命之後者不見

七十 凡海部直之明命之後者不見

七十 凡海部直之明命之後者不見

七十 凡海部直之明命之後者不見

